

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### 県立学校の環境改善

R7 予算案 2,740百万円 R8 債務負担行為 3,118百万円  
(R6 予算 1,303百万円)

#### ① 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

R7 予算案 1,120百万円 (R6 予算 276百万円)  
R8 債務負担行為 2,590百万円

○令和7年度は10校で洋式化・乾式化の工事を実施

改修後イメージ



#### ② 特別教室、体育館への空調設備の設置

R7 予算案 114百万円 (R6 予算 93百万円)

【特別教室】

・稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置 (8校19室)

【体育館】

・授業中等の熱中症対策のために空調設備を設置

(県立高校：全体設置計画作成、特別支援学校：4校に設置)



#### ③ 県立学校の老朽化対策

R7 予算案 1,507百万円 (R6 予算 935百万円)  
R8 債務負担行為 527百万円

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等

P.31 教育の充実

## Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

### 脱炭素社会の実現①

R7 予算案 4,050百万円 R6・2月補正予算案 368百万円  
(R6 予算 2,788百万円)

#### 奈良県脱炭素戦略(令和7年3月策定)の推進

- エネルギーを「つくる」、「ためる」、「かしこくつかう」取組と、「普及啓発」の促進、そして、CO<sub>2</sub>を「ためる」取組が、効果的かつ効率的に図られた、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す
- 脱炭素社会の実現に向けて、部局横断的な連携により全庁が一体となって協働し、従来の脱炭素施策に加えて、今後進展するであろう水素の利活用を視野に入れ、リーディングプロジェクトを積極果敢に推進

#### 1. 温室効果ガスの排出削減

##### I エネルギーを「つくる」

R7 予算案 200百万円 (R6 予算 201百万円)

エネルギー確保に向け、地域資源(小水力など)を活用した地産地消による再エネ導入を推進

【リーディングプロジェクト】

- ① 新小水力発電による電力の地産地消とレジリエンス強化のためのモデル地域の創出検討
- ② 新水素需要が見込まれる交通結節点エリアでの水素製造拠点等の整備検討
- ③ 第二浄化センターにおける脱炭素化技術(消化ガス発電等)の導入可能性検討

【主な事業】

- ④ 地域の再エネ等由来水素を製造、貯蔵、運搬、利用する水素製造設備の導入支援
- ⑤ 家庭・事業所への創エネ設備の導入支援



水素ステーション大安寺

##### II エネルギーを「ためる」

R7 予算案 15百万円 (R6 予算 75百万円)

再エネの導入拡大に伴って生じる余剰電力の有効活用と、地域の避難所や家庭等におけるレジリエンス強化を図るため、蓄電池や水素等の活用を推進

【主な事業】

- ① 新災害活動用公用車へのプラグインハイブリッド車導入
- ② 公的部門における次世代自動車(EV・PHEV等)の率先導入
- ③ 公民館等避難所への非常用電力自給設備(V2L等)の導入支援
- ④ 家庭・事業所への蓄エネ設備の導入支援



プラグインハイブリッド車



V2L(電気自動車用可搬型給電器)

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現②

##### Ⅲ エネルギーを「かしこくつかう」

R7予算案 2,718百万円 R6・2月補正予算案 368百万円  
(R6予算 1,420百万円)

家庭・業務分野における省エネ・節電等の推進、次世代自動車の普及促進、産業分野における省エネ・再エネ等活用の促進

###### 【リーディングプロジェクト】

①工業団地の脱炭素化や製造業の省エネ・再エネ等利活用に向けた取組を実施

###### 【主な事業】

- ②県有施設における照明のLED化、施設のZEB化
- ③県有施設に設置している電気自動車用急速充電器の更新
- ④EVバス車両・EVバス用充電器の整備支援
- ⑤家庭・事業所への省エネ設備の導入支援



EVバス

##### Ⅳ 普及啓発

R7予算案 131百万円 (R6予算 98百万円)

県民の行動変容を促す取組の推進、環境問題について自ら考え行動に移す人材の育成、観光分野でのゼロカーボンの取組やサステナブルな観光地づくりの推進

###### 【リーディングプロジェクト】

①新観光地の脱炭素化を目指す市町村と連携し、脱炭素化推進に向けた調査や実証事業等を実施

###### 【主な事業】

- ②新購買行動の脱炭素化、環境教育・食品ロス対策、脱炭素活動を促すアプリの提供
- ③県民・事業者・市町村等を対象とした各種啓発イベント・セミナーの開催、新気候変動適応センターの運営



環境にやさしいエネルギー学習イベント

#### 2. 二酸化炭素吸収源の整備

##### V CO2を「ためる」

R7予算案 987百万円 (R6予算 994百万円)

二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な整備・保全に取り組むことにより、地域産業の活性化を図り、持続可能な地域づくりを促進

###### 【主な事業】

- ①施業放置林の解消・未利用材の搬出促進
- ②公共建築物、公共工事、民間等における県産材の利用促進
- ③新県内で組成されたJ-クレジットを「奈良県カーボクレジット」として登録し販売促進、創出支援アドバイザーの派遣



県産材を利用した福祉施設

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現③

R7予算案 8百万円  
(R6予算 - )

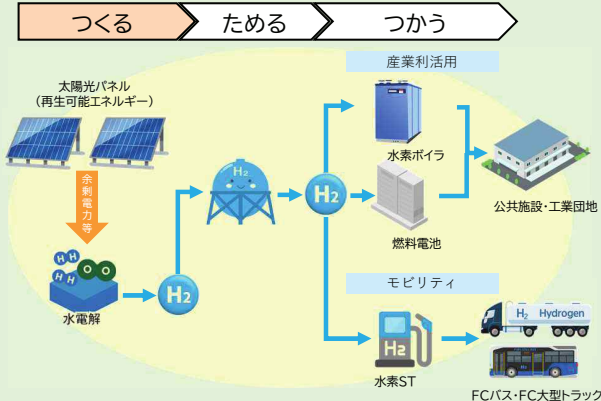
##### 新 リーディングプロジェクト推進事業

##### 1. 水素製造拠点整備プロジェクト

広域幹線道路等の交通結節点エリアにおいて、まとまりのある水素需要が見込まれる地域をターゲットに、水素製造拠点、商用水素ステーションの整備を計画・推進

新 水素需要が見込まれる交通結節点エリアでの水素製造拠点等の整備検討

###### < 水素製造・貯蔵・利活用のイメージ >



##### 2. 小水力活用プロジェクト

小水力発電のポテンシャルがありながら送電網の接続制約等から活用できていなかった県南部東部地域において、水素製造・貯蔵等を視野に、小水力を活用した電力の地産地消と非常用電源の確保を可能とするモデル地域の創出を検討・推進

新 小水力発電による電力の地産地消とレジリエンス強化のためのモデル地域の創出検討

##### 3. 環境行動変容の促進

家庭・業務部門における二酸化炭素排出は、個人の消費志向や行動意識に大きく依存しており、県民の行動意識を変えることが重要であることから、食品ロス対策、過剰包装対策やエコ活ポイント制度など行動変容を促す取組を推進

新 購買行動の脱炭素化、環境教育・食品ロス対策、脱炭素活動を促すアプリの提供など

P.32 脱炭素社会の実現



### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現④

R7 予算案 10 百万円  
(R6 予算 - )

#### 1. 新 食品ロス削減推進計画策定事業 R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 - )

食品ロスの現状調査及び次期食品ロス削減推進計画の策定

- 食品ロス削減推進計画策定に向けた現状調査
- 第2期食品ロス削減推進計画(⑧~⑫)の策定

#### 2. 新 食品ロス削減マッチング推進事業 R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 - )

- ウェブサイト(奈良コレ)上で、未利用農産物や加工品等を提供できる事業者(農産物直売所や企業等)と提供を希望する団体(こども食堂等)をマッチングし、まだ食べることができる未利用農産物等の活用を促進し、食品ロスを削減するシステムを構築
- これまで県を介して直売所と団体の調整を行ってきたが、ウェブ上でマッチングすることにより、実施時期や提供する農産物等の量、種類などがリアルタイムで調整でき、さらなる食品ロスの削減を推進



直売所でこども食堂のスタッフが野菜などの農産物を受け取る様子



(活用例) 受け取った農産物は、こども食堂で食事や弁当として提供される



「奈良コレ」  
県産食材や特産品、県産食材を食べられる飲食店情報の検索ができるサイト。新たに、クローズページでマッチングできるシステムを追加

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025①

R7 予算案 2,705 百万円 R6・2月補正予算案 45 百万円  
R8~19 債務負担行為 5,139 百万円 (R6 予算 2,470 百万円)

#### 1 人材確保の抜本的強化

R7 予算案 26 百万円 (R6 予算 16 百万円)

- ①(新)大都市圏での情報発信・相談拠点の設置、移住就労セミナー、プロモーションの充実強化
- ②中高生に、県内企業の魅力を知ってもらうバスツアーを実施



(バスツアーの様子)

#### 3 生産性向上と新規事業への強力な支援

R7 予算案 1,131 百万円 R8~19 債務負担行為 3,100 百万円 (R6 予算 1,065 百万円)

- ①次世代の高度な技術を活用したサービスの社会実装、地域課題の解決を目指して取組を実施
  - ・ドローンを活用した物流実証実験
  - ・(新)新たな先進技術の社会実装化への支援
- ②企業や宿泊施設の誘致のため、引き続き東京・大阪でのセミナーを開催し、知事自ら奈良のポテンシャルや取組等についてアピール
- ③工場、研究所等の新たな立地を行う企業に対し補助

(ドローンの実証実験)



#### 2 用地確保と先進的なグリーン化

R7 予算案 775 百万円 R8~10 債務負担行為 2,039 百万円 (R6 予算 1,054 百万円)

- ①京奈和自動車道御所 I C 周辺に工業団地を整備
- ②文化財発掘調査の効率性・予見可能性の向上
- ③県内工業団地の脱炭素化や製造業の省エネ・再エネ等利活用に向けた取組を実施
- ④(新)奈良県 SDGs 企業認証制度を開始 (R7.10 スタート)

#### 4 行政対応の不満・ボトルネック解消

R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 10 百万円)

- ①「CRM(顧客情報マネジメント)」システムの活用
- ②県と企業をつなぐ「専任担当者」の訪問企業数を拡充(60社→120社)
- ③新たに企業訪問(御用聞き)を100社程度拡充して実施
- ④(新)県の産業政策の情報を集約した「(仮称)まいど!奈良県企業支援がいど!」の作成

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025②

##### 5 新たな成長のフロンティア(海外展開)

R7 予算案 27百万円 (R6 予算 28百万円)

- ① 奈良県海外展開サポートデスクによる支援
- ② 電子商取引を活用した海外展開に取り組む企業を支援
- ③ 権利保護・模造品対策のため、企業の外国出願を支援

##### 7 企業価値を次世代につなぐ事業承継

R7 予算案 3百万円 (R6 予算 5百万円)

- ・事業継承が難しい県内事業者に対し、第三者承継(M & A)を通じた円滑な事業承継を行うために必要な経費を補助

##### 6 重点的な外国人材の呼び込み

R7 予算案 39百万円 (R6 予算 40百万円)

- ①(新) 外国人支援センターを日曜日も開所 (R7.4スタート)
- ②(新) 在住外国人コミュニティ活動支援補助金の対象を企業にも拡大
- ③ ベトナムの大学生をインターンとして県内企業で受入
- ④ 外国人留学生の県内企業への就労を支援



(留学生の交流会の様子)



(ベトナム人大学生のインターンの様子)

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025③

##### 取組① 中小企業の生産性向上と賃上げに向けた支援

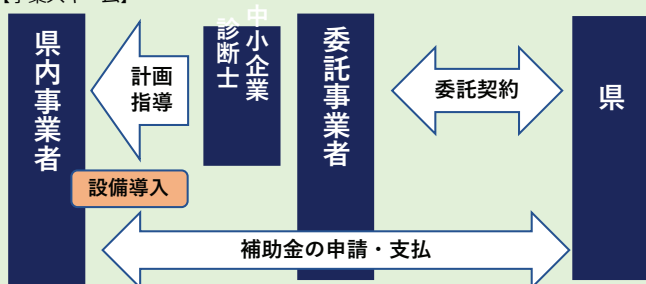
###### (新) 奈良県省力化・生産性向上設備投資支援補助金

R7 予算案 436百万円 (R6 予算 -)

- ・中小企業等の人手不足への対応と賃上げを図るため、専門家の支援を得て行う省力化・生産性向上に資する設備投資に対して補助

- 補助内容：省力化・生産性向上に資する設備導入にかかる製品本体費、導入経費(運搬費等)
- 補助率：1/2
- 補助額：(上限)5,000千円 (下限)1,000千円
- 補助要件：
  - ・設備導入前に中小企業診断士による支援を受けること
  - ・賃上げを実施すること

【事業スキーム】



##### 取組② 定年後のキャリアチェンジの推進

R7 予算案 263百万円 (R6 予算 252百万円)

R6・2月補正予算案 45百万円

- ・定年後も社会で引き続き活躍し続けることを望む高齢者の多様なニーズを実現するための相談窓口を設置し、就業者数の維持につなげることで、県経済の発展を図る

《主な事業》

- 県内企業人材確保支援事業
  - ・(新) 働きたい、起業したいなど高齢者の様々なニーズに合った支援施策を紹介するワンストップ窓口を設置
- (新) シニア起業支援事業
  - ・起業に向けた行動プランの立案を支援する講座を開催
  - ・起業に要する経費に対し支援金を支給
- 県内就労あっせん事業
  - ・プロフェッショナル人材戦略拠点が高度専門人材等を県内企業に紹介

【ワンストップ窓口のイメージ】



P.33 工業・商業の振興



### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 奈良スタートアップ・プログラム

R 7 予算案 39百万円 (R 6 予算 57百万円)

##### 取組の方向性

- 奈良発のスタートアップのロールモデルを産み出す
- 産学官とスタートアップの連携を促進する
- 未来の起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育/起業家教育

「学」  
(大学・高専等)

①大学発スタートアップの創出・成長促進  
R 7 予算案 19百万円 (R 6 予算 33百万円)

県内大学等に対し、研究成果の事業化に向けた研究・試作品作成等を支援

スタート  
アップ

④奈良発スタートアップの成長促進

R 7 予算案 9百万円  
(R 6 予算 4百万円)

⑧機運醸成・マッチング機会の提供により、スタートアップからの公共調達を促進

県内企業等と連携した伴走支援等

②「学」(研究)と企業の事業共創  
R 7 予算案 5百万円 (R 6 予算 -)

⑨事業化可能性のある研究シーズ・アイデアを発掘して企業とつなぎ、社会実装に向けた共同研究を支援

⑤起業人材の育成 R 7 予算案 1百万円  
(R 6 予算 5百万円)

⑩起業意欲ある若者を県内に呼び込み、定着を促進

「産・官」  
(県内企業・行政)

③オープンイノベーションの創出  
R 7 予算案 5百万円  
(R 6 予算 15百万円)

⑪新規事業開発を目指す県内企業に対し、社内ベンチャーが生まれる環境の整備を支援

若者・大学生  
(起業予備軍)



(奈良スタートアップの集い2023)

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 大和平野中央の県有地の活用

R 7 予算案 2,891百万円 R 8~9 債務負担行為 149百万円  
(R 6 予算 1,242百万円)

##### 磯城郡3町における県有地を活用したまちづくりを推進

R 7 予算案 2,891百万円 (R 6 予算 1,242百万円)  
R 8~9 債務負担行為 149百万円

<川西町・三宅町>

- ① 事業用地にかかる調査及び計画策定
- ② 事業用地の取得及び管理

<田原本町>

- ③ 新運転免許センター整備にかかる造成設計等
- ④ 仮称新第二庁舎整備調査検討業務

##### 次世代を担う学生×企業のみち MIYAKE (石見地区)

- ・若者が、生活しながら成長できるヤング・イノベーション・レジデンス(居住、企業や地域との学び・交流、イノベーションの3つの機能)
- ・まちのコンセプトに賛同する、研究や新産業にチャレンジする企業誘致



イメージ

##### 子どもを中心に多様な交流が生まれるまち KAWANISHI (下永地区)

- ・地域の活性化につながり、子どもたちも楽しめる企業を誘致
- ・地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点を誘致(バレーコロナレジデンスアカデミーの誘致)



イメージ

##### 交通安全・安心のみち 田原本 (阪手北・西井上地区)

- 新しい運転免許センター
- ・県民の交通安全拠点(高齢者講習実技指導コースの新設)
- ・子ども連れから高齢者まですべての利用者に利用しやすい施設
- 仮称新第二庁舎の整備に向けた検討(白バイやパトカー隊などの移転)



イメージ

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策①

R 7 予算案 865百万円 R 8~12債務負担行為 578百万円  
(R 6 予算 716百万円)

##### 1. 観光消費額を多くする取組

R 7 予算案 419百万円 (R 6 予算 370百万円)

- ①奈良県観光戦略本部を中心に、民間の知見やアイデアを取り入れながら、県の観光を戦略的に推進
- ②旅行者の消費拡大、来訪促進等を図るため、観光分野のDXを推進
- ③万博を契機としたインバウンドへの宿泊誘客を強化
- ④(新)パリ・ユネスコ本部での「飛鳥・藤原の宮都」の魅力のPR及びインバウンド誘客促進
- ⑤交通事業者とタイアップした誘客強化
- ⑥多くの集客・観光消費が見込まれるMICE誘致を推進
- ⑦県内重点エリアを対象とした実践的かつ効果的な観光地域づくりを推進
- ⑧(新)市町村等と連携し、観光地の脱炭素化を推進
- ⑨(新)奈良公園周辺でのナイトタイムエコノミーの推進



鉄道沿線広告を活用した情報発信



商談会での情報発信

##### 2. 奈良を深く知り、満足度を高める取組

R 7 予算案 387百万円 R8~12債務負担行為578百万円  
(R 6 予算 346百万円)

- ①宿泊施設の立地等に対し補助
- ②(新)データを活用した誘致営業ツールの作成
- ③宿泊施設誘致コーディネーターの配置
- ④宿泊施設事業者を支援するためアドバイザーを派遣
- ⑤奈良県地域通訳案内士を新規育成
- ⑥奈良の観光シンボルであり、国の天然記念物でもある「奈良のシカ」の保護育成

##### 3. 奈良公園周辺から県内周遊を推進する取組

R 7 予算案 50百万円 (R 6 予算 -)

- (新) NHK大河ドラマを契機とした県内周遊促進及び機運醸成

##### 4. 観光行政の推進

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)

- (新) 民間企業等と締結した連携協定に基づき、観光振興に資する取組を推進

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策②

日本へのクリエイティブな旅展2025現地プロモーション事業 R 7 予算案 17百万円 (R 6 予算 -)

パリ・ユネスコ本部で開催される「日本へのクリエイティブな旅展2025」に出展し、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」を核とした本県の価値と魅力を発信。

併せてメディア・旅行会社向けにPRイベントを実施。万博開催直後の絶好の機会に本県の認知度向上・誘客を行い周遊・滞在型観光の促進を図る。

##### 事業内容

###### ①ユネスコ本部での「日本のクリエイティブな旅展」出展

国連職員、海外公館職員に向けてパネル展示・現品・映像・音声により地域の魅力をPR

期間 令和7年4月23日~4月28日

会場 パリ・ユネスコ本部

主催 日本へのクリエイティブな旅展実行委員会(会長:ユネスコ第8代事務局長)

共催 ユネスコ日本政府代表部



ユネスコ本部での展示イメージ

###### ②メディア・旅行エージェント向けパリ市街地イベント

現地メディア・旅行会社・一般市民に向けたイベントを通じて奈良の歴史・文化などの魅力を発信

集客しやすいパリ市街地でイベントを実施し、幅広い層に奈良の魅力をPR。メディアやインフルエンサー等を招致し、今後の情報発信を促進。



現地プロモーションイメージ

旅展テーマ：  
日本の「地方」と「文化」に  
焦点を当て新たな旅を提案

P.34 観光の振興



### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策③

##### 奈良公園ナイトタイムエコノミー推進事業

R7予算案 15百万円 (R6予算 ー)

奈良県観光戦略本部が掲げる“観光消費額増加及び宿泊者数増加”を目的として、奈良公園の歴史的・文化的特性及び市街地に近い地理的特性を活かした**体験と地域経済がリンクする仕組みを構築**し、ナイトタイムにおける新たな価値を創出する。

##### <現状>

世界遺産「古都奈良の文化財」における奈良公園周辺には、多数の国内外の観光客が来訪し、集中。

##### <今後>

奈良公園及び周辺地域の魅力を活用し、滞在時間の延長や夜間の周辺地域への**経済的な波及効果**を高めたい。



##### <スキーム>

地域の様々な関係者が得意分野を発揮、連携して消費の拡大を目指す

- ☞ **周辺の博物館等** …夜間や早朝の“学び”、“体験”の場、特別企画等のコンテンツ提供
- ☞ **地域の飲食施設** …その土地ならではの飲食の提供
- ☞ **宿泊施設** …コンテンツや食の情報提供

##### <今後の事業展開>

##### 1 博物館・美術館の夜間開館拡大とナイトコンテンツ造成

(イメージ)

- ・開館延長にあわせたコンサート
- ・バックヤード公開や展示内容とコラボした夜間の特別企画

##### 2 ナイトコンテンツ実施時の周辺地域への誘客促進

(イメージ)

- ・飲食店での展示とコラボした食材や料理の提供
- ・地域を巻き込み、連携したコンテンツによる集客



【他県の参考事例】



【ナイトミュージアムKANSAI キービジュアル】  
京セラ美術館、京都文化博物館、滋賀県立美術館

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策④

##### 奈良の鹿保護育成事業

R7予算案 92百万円 (R6予算 70百万円)

奈良市、春日大社と協力し、奈良の鹿愛護会と連携しながら、天然記念物「奈良のシカ」の保護育成・管理の取組を推進する。

##### (一財)奈良の鹿愛護会の活動に対する支援

「奈良のシカ」の保護育成に重要な役割を担っている**奈良の鹿愛護会への支援を充実**させ、**奈良のシカの保護の強化**を図る。

##### 充実させる取組

鹿苑における収容シカの環境改善	より栄養価の高い飼料の給餌、寒暑風雪等の天候対策のため仮設テントの増設、清掃業務等の作業効率向上に資する機器の確保。
傷病シカ、妊娠シカの保護	・負傷したシカや妊娠シカ等を円滑に保護し、処置するための職員の拡充。
奈良のシカと人の共生施策の実施	・鹿苑の役割である、角切り、鹿寄せ等の伝統行事の保存継承、人身事故防止や公衆衛生の確保に係る職員の拡充。
奈良のシカの保護育成のための調査研究及び普及啓発活動	・剖検等各種検査、生態調査に関する調査研究機器の確保 ・県、奈良市、春日大社、関係団体と連携した「奈良のシカ」と人が共存する地域づくりのための啓発活動の充実。



##### 農業被害対策の実施

地域社会との軋轢を軽減し「奈良のシカ」と人との共生を進めるため、農業被害程度が高い地区において防鹿柵を設置するとともに、第二種特定鳥獣管理計画に基づく管理を行い、農業被害の防止を図る。



P.34 観光の振興